

石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge …

© photo by Isao Yoshida

"世界へのプレゼントになろう"

RI会長 K.R.ラビンドラン 2570地区ガバナー 高 柳 育 行

「ロータリーの心を実践しよう」

第 2659 例会 2015.8.5

- 会員増強・新クラブ結成推進月間 --

天 候 (NO. 52-06) 晴

会 長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 市川(昭)君、伊澤君

【ガバナー公式訪問】飯能・日高合同例会 ホテルヘリテイジ飯能sta.

- ・点 鐘 間邉会長
- 君が代 奉仕の理想 ・ソング
- ・四つのテスト斉唱 川口職業奉仕委員
- ビジター 2015 −16 年度 国際ロータリー 第2570地区ガバナー

高柳育行様(本庄RC)

第3グループガバナー補佐

吉田譲二様(入間南RC)

金井福則様(本庄RC)

戸谷清一様(本庄RC)

記念卓話 高柳育行ガバナー

【会長報告】

間邉会長:本日は猛暑の中、高柳ガバナー 吉田補佐、本当に有難うございます。戸谷様、 金井様、遠方より本当に有難うございます。 先程、入会3年未満の会員(飯能5名、日高4名) とガバナーとの懇談会を開きました。とても 有意義な時間を持つ事が出来ました。特に、 ガバナーからの「縁を大切に」という言葉がと ても印象的でした。新年度に入り1か月が経 ったばかりですが、米山功労者、ポールハリス フェローの皆様にバッジを贈呈します。

◎米山功労者賞 (マルチプル)

和泉由起夫会員(2回)、土屋 崇会員(2回)

- ◎ポールハリスフェロー 吉田行男会員
- ◎ポールハリスフェロー (マルチプル) 服部融亮会員(2回)、新井景三会員(3回) 木川一男会員(6回)、間邉元幸会員(2回) ご協力有難うございました(拍手)。

例会場:ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038飯能市仲町11-21

事務局:飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

雷(042)974-3111代 FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

古本会長:会場の手配やご準備等、大変有難う ございました。一日よろしくお願い致します。

- ロータリーレート1 \$ = 124 円
- ・8月の月間テーマは「会員増強・新クラブ 結成推進月間」に変更されます。
- ◎例会変更のお知らせ
- ◇狭山中央RC
- · 9 / 22 (火) 例会取止
- ・10/27(火) 10/17(土)地域交流フリーマーケットに振替
- ◇新狭山RC
- ・9/14 (別 12仕)13 (印) 文理祭に振替
- · 9/21 (月) 法定休日
- 9 / 28 (月) 26(土)彩の国ロードサポートに振替

【出席報告】MU·無断欠席なし 伊澤出席委員

会員	員 数	当	日	前々回修		逐正
全 数	対 象	出席数	出席率	出	席	率
58名	6名	48名	82.76%	87.93%		%

【SAA報告】

- ◎====BOX
- 病気療養中で欠席が続いています。本日は 出席出来てうれしいです。 山岸君
- ・私事ですが飯能靖和病院創立35周年記念 誌を発行させて頂きました。飯能医師会長 石井先生、埼玉県医師会長金井先生、全日本 医師会長横倉先生、埼玉県知事上田様、近隣の 6つの市長の祝辞を頂き感謝しています。木川君
- ・高柳ガバナーはじめご来訪の皆様ようこそ。 平沼君、木川君、吉島君、間邉君 土屋(崇)君、小川君、和泉君、吉田(行)君

•早退 沢辺君

本日計16,000円、累計額104,000円。

②次々週例会当番は加藤、神田(康)会員です。

【記念卓話】

講師紹介 間邊会長

1953年生まれ61才。とてもお若いガバナーです。お仕事は歯科医で高柳歯科医院医院長。1988年、35才で本庄RCに入会され在籍27年。「絵手紙」でたいへん有名な方です。私も新年度の直前に絵手紙を頂き、お心配りにとても感銘を受けました。有難うございました。

ガバナー公式訪問例会 記念卓話 2015-16年度 国際ロータリー 第2570地区がデー 高 柳 育 行 様 (本庄RC)

皆さんこんにちは。飯能RC、日高RCの合同の会合に出席させて頂きました。

先程、両クラブの会長幹事と懇談する場を 作って頂き、クラブのお話をいろいろ聴かせ て頂きました。

1点は、両クラブから地区への役員が輩出 出来ていないというお話。私の方も配慮が足らなかったなと思っています。もう1点は、よく語られる事ですけれども、会員増強所属とませた。かつて飯能クラブに月の公式訪問についていろいる間違会長にお話した。私は国民健康保険の、歯科の審査業務を毎月にいるわけですけれども、幹事さるという状態でございます。さまな縁があっていた事をございます。さまばれていた事をございます。さまばれているかけがまず。さまばれているかであります。と改めて感じた次第であります。

飯能は、入会5年未満の方が10数名、10年以上の方も36名、バランスのとれた会員構成。 創立52年目となる、歴史あるクラブという事で「相手を思いやり行動しよう」とのテーマを掲げられたようでございますが、私の地区の取り組みとたいへん近いお考えでクラブ運営をされているんだなと思っております。また、地区では「地区戦略計画委員会」というものを作り、各クラブで「戦略計画」を立てて頂くお願いをしているところですが、「中・長期計画」も「年度計画書」で拝見させて頂きました。たいへんありがたい事だと思っております。

一方、日高の古本会長からは、会員がやや少ないですけれどもたいへん和やかな会だとご紹介頂きました。「魅力を見い出し共に成長し合おう」、これも私の思っている事と同じで、両会長のお考えにたいへん感銘を受けました。

公式訪問では多くの事を皆様にお伝えしなくてはと思いますけれども、およそ30分という限られた中で、あまり多くを語るよりも、私の思うところをお話させて頂く中で皆様に何か感じて頂く、または、ご理解を頂けたらというふうに思っております。

今年1月、サンディエゴで開催された国際 協議会に出席して参りました。



ラビンドランRI会長は「ロータリーは、 私達の資質を引き出し、それを人生で生かす 道を見つけてくれます」と言っておられます。

私自身、JCに一時期在籍をしておりまし て途中でJCを退会、35才でRCに入会致し ました。その後、本庄RCの幹事、会長を務め させて頂きましたけれども、その中でたくさ んの先輩に接する事が出来ました。RCに入る 前は「親の背を見て育つ」と言いましょうか、 出会った多くの学校の先生であったり尊敬す るような方々を見ながら「私もああいうふう になれればな」と思って過ごしてきたわけで すが、RCに入り、さまざまな業種の方、さま ざまな価値観を持っておられる方、さまざま な人生を歩んでいる方にお会いし、たいへん 勉強になりました。皆様もきっと同じではな いかなと思います。そういった事も全て「何 らかの縁があって我々は生きているんだ」と いう事だろうと思います。

皆様へのお願いという程でもないかもしれ ませんが、何か縁があった時にその縁を大事 に結んで頂きたいなというふうに思います。 私自身さまざまな機会を頂いて迷った事もあ りますし一度は断った事もありましたけれど も、最終的にそれを受け入れてきて、その結 果が今の私だというふうに思っております。 機会というのは自分から掴むものでもありま すが、他人から与えられるという事も多くあ るのではないかと思います。これまでRCに 関わってきた中で、一つ皆様にお伝えする事 は「縁を結ぶ事を心掛けて頂きたい」という 事でございます。その結果として、素晴らしい 自分の師となるような方に出会う事も出来ま すし、一時的には辛い思いをする事もありま すが、それも全て私の人生の中で大事な学ぶ 機会であったというふうに思います。

拝見しますと私よりも年令を重ねた方もいらっしゃるようです。そういった中、私がこういう話をするのもたいへん恐縮に思いますがガバナーという役職を頂いている関係で是非お聞きになって頂けたらと思います。

RI会長の「世界へのプレゼントになろう」というテーマをお聞きになった時、どのように思われたでありましょう。「ビー・ア・ギフト・トゥー・ザ・ワールド」が「世界へのプレゼントになろう」となりました。「ギフト」でも「贈り物」でもなく「プレゼント」。疑問に思われた方もいらっしゃるだろうと思いますが、贈り物をする

時、一般的に日本では「プレゼントする」という表現だろうと思います。デパートに「ギフト」という表現があるのも事実です。欧米では「ギフト」には「神から与えられた、神からの贈り物」という意味合いもあるようですし「神から与えられた才能」というような意味合いもあるようです。日本では心を込めて人に贈り物をする時「プレゼント」という言葉を使う気に取ります。ロータリー日本語局が日本語が設めます。ロータリー日本語局が日本語が設ます。日本の習慣、国民性、いろんなものを考えた中で「プレゼント」という言葉を選ばれたんだろうと思います。是非そんな事でご理解を頂ければと思います。

私の話は『ロータリーの友』7月号に書かれている内容と重複するところがあるかと思います。ガバナーが「RIの役員の一人である」という事からしますと、RI会長テーマを皆様によく理解して頂く事が私の役目の1つかなというふうに思っております。7月号冒頭のインドのお話には、「物質的な価値ではなく、贈り主の心がどれだけ込められているか」、そんな事が書かれていたかと思います。

昨日訪問したクラブで、先程ご紹介にあり ました私の「絵手紙」について紹介して頂きま した。「どれだけ心が込められたか」と言うと 自信の無いところですが、たかが「はがき1枚」 ですが、今年度、地区の皆様の誕生日に絵手 紙を描こうというふうに思っております。な かなか「年度計画書」が手元に届かなかったり 誤って抜けてしまった方もいらっしゃるかと 思いますが、それでもほぼ毎日何枚かずつ投函 しているところです。2570地区のロータリ アン一人一人が誕生日を迎えられた事に対し ガバナーとしての1つの気持ちの表し方として 出させて頂きました。絵手紙をやっている方 には「こんな出来か」と思う方もいらっしゃるか もしれません。高価なものではありません。切 手52円とはがき1枚、絵を描くための顔彩の 費用をひっくるめてもたかが知れている金額 です。でも、昨日も「誕生日カードを頂いたので ニコニコに投入致します」という発表をして 頂きました。私としては「だいぶそれで効果 があるのかな」と思った次第でございます。

高価な物や自分が買えないような物を貰っ

た時は確かに「嬉 しい」というのは あります。ただ、 それが全てなので しょうか。ラビンド ラン氏の言う「心が こもった物」。7月 号に書かれていた のは「クリシュナと スダマ」のお話で した。自分の所に ある、ありったけ の米を持って王様 に、今の苦しい生 活を何とかして欲 しいとお願いに行 く。それを読み取 った王様が、お願

いに行ったスダマの願いを全部叶えてあげるというもの。土産に持って行った物は大したものではありません。王様からすれば大した事ではないかもしれないけれども、生活的に苦しんでいる人達にとっては素晴らしいプレゼントを頂いたという事だと思います。我々が普段ロータリアンとして奉仕をする、もしくは何か行動する時、そういった考えが出来ないだろうかなというふうに思います。

もう1つお伝えしたいのが「恩送り」という言葉。親から命を貰ったり愛情を頂いたり、家族を与えられたりといった、生まれながらのさまざまな恩に応える事は思っていてもなかなかしないのが現実ではないでしょうか。親に対しての「ありがとう」の一言や、親に何かしてあげるという事もあるかもしれません。それはされているかもしれませんが、もっと違った本来だったら恩返ししたいのだけれども出来ない場合というのもあるのではないでしょうか。

私の例で恐縮ですが、中学校の恩師と数十 年ぶりにお会いした時、私の今の状況を見て たいへん嬉しく思ったという話をされました。 その先生には特別何か恩返しをしたわけでは なく、先生からすれば「私の成長した様子を見 て」嬉しく思ったという事だと思うのですが ある意味ではそれでその恩師に対し恩返しが 出来たのかなと思いました。その人に特別何 かするわけではないのですが、「自分が成長し ていく」という事で指導してくれた方に恩返 しが出来る。その人が亡くなってしまったら 何もしてあげられませんけれども、誰かほか の人の手助けをしてあげれば、その恩に報いる、 恩返しが出来るという事なのではないか。世 の中を考えた時、あるいはロータリーという 場を考えた時、この「恩送り」という言葉を 是非皆さんに再認識して頂きたい。

先程、米山、財団にご寄付を頂いた方はバッジを渡されたと思います。ガバナーになりますと「会員増強してくれ」「財団に寄付してくれ」等の話をしがちだと思いますが、私はあえてあまりしないように心掛けております。だからと言って、協力しなくてもいいというわけでもないわけです。今、この日本という国に生活出来、食べ物にもそれ程不自由なく、安全



で安心出来ている。多少、マスコミを見ますと 社会的に問題もあるようですが、世界から見 た時には非常に恵まれた国だろうと思います。 その中で、我が2570地区で財団の奨学金を 頂いた学生が世界の場で人道的支援をやって いる。例えば、金子由佳さんはガザで一生懸命 人道的支援をされています。我々がそこへ行 ってそこの人達のために出来るかと言えば、 自分達の仕事等を考えて、することは出来な いわけであります。しかしながら、財団への 寄付を通じて間接的にその人達を支援し、そ の人達はその頂いた物で今度はそこの紛争で たいへんな生活をしている人達の面倒を見、 お世話をしている。こういう事を考えた時、 この「恩送り」という言葉が当てはまらない かなというふうに思います。

私達は多くのさまざまな恩を頂いた中で、 経済的にも健康的にも恵まれて生活が出来ている。その中で得た一部のお金を寄付として 提供する中で、提供を受けた学生が、今度は世界の場で人道的な支援をしている。こういった事が、この、ラビンドラン氏の言う「恩送り」の例ではないかなと思います。無理やりという事ではなく、そういった状況をご理解頂いた上でご協力を賜れればというふうに思います。

地区として「ロータリーの心を実践しよう」 というテーマを掲げました。RI会長の「世界 へのプレゼント」になってしまうと何か自分か ら遠く離れた、あるいは国際奉仕がするよう なものと捉えられてしまう。私としては「家族 へのプレゼント」「クラブへのプレゼント」「地域 へのプレゼント」もあるだろう、それらを全部 含めて「世界へのプレゼント」という事ではな いかなと思いました。それを意識して頂くため 「ロータリーの心」で「実践」する事がそこに繋 がってくれるのではないかと思い、このテーマ を掲げさせて頂きました。地区運営に当たって は「RIの掲げる戦略計画に沿って、活力ある クラブとなるよう支援に努めます」「謙虚で誠 実、思いやりのある心で実践に努めます」「適 切な地区運営と財務管理に努めます」という3 つの約束を致しました。両クラブの会長テー マとも近いものがあるなと改めて感じており ます。私自身、ロータリアンになって27年が経 過し、その中で感じて来た事、また最近特に感 じた事を基に約束を3つ挙げた次第です。

今日初めてお会いする方が大半なのだと思 います。「ガバナーとしてどうなんだろう」「ど んな人がガバナーなのだろう」。私としては1 年間、ガバナーという役目を頂いたので、その 肩書を以って、精一杯リーダーとして務めて 参りたい。その中で私としては行動で示すの がベストだろうなと思っております。皆様の 中で地区HPをご覧になられた方はどの位い らっしゃるのでしょうか。前年度のHPはご覧 になっていますか。1つは、地区のフェイスブ ックを立ち上げました。今日例会が終わる頃 にはここの様子をアップします。昨日は朝霞 RCでした。3卓に分かれてRLI方式でクラブ 協議会を行って頂きました。「地区フェイスブ ック」の所をクリックして頂きますと昨日の 様子はご覧になって頂けます。その日のうちに

アップしています。皆さんに「行動、実践するガバナーですよ」というのを認識して頂くために対応しているつもりでございます。飯能、日高の皆様も、活動内容等の画像とコメントを付けて送って頂ければ掲載致します。是非ご協力頂きたい。2570地区の各クラブが「ことなクラブをやっていますよ」というのをます。たずでシェア、共有して頂きたいと思います。これる方もいらっしゃるかと思います。先援に紹介した「活力のあるクラブとなるよう支援に紹介した「活力のあるクラブとなるよう支援に努めます」の、1つの具体的な例としてそんな事をやっているという事を皆様にもご理解き、ご協力を頂ければと思っております。

最後になりますが、50年以上の歴史がある 飯能RC、30年以上の歴史のある日高RC、共 に会長幹事とお話させて頂いた中でそれぞれのカラーがあって素晴らしいクラブだなと思いました。その中で是非地区への役員のご動力も頂ければと思います。クラブ内で活動であるの他のクラブの皆様にも接する事が出るの他のクラブの皆様にも接する手だけない。そういった中で知識が身に付いかなと思っております。そういった縁を皆様にもいております。そういった縁を皆様にも地区への委員として協力出来る方が出る事をご期待申し上げたいと思っております。

私達は、感謝の言葉を頂いた時に、自ら貢献が出来たという事を知るのではないでしまうか。私は歯科の開業医ですので、治療が終わると「有難うございました」という事で患者さんは帰って行かれます。「これで私のかな」といる知識や技術が役に立っているのかな」というふうに思います。皆様それぞれの仕事でんな日々を過ごされていると思います。「とんな日々を過ごされていると思います。「なけて頂く、また、楽しい人生を歩んで頂く、また、楽しい人生を歩んで頂でロータリーというものをそれぞれもう一回振り返って頂ければと思っております。

大した「プレゼント」になる卓話ではなかったかもしれませんが、皆様はもっと素晴らしい「プレゼント」が出来る方々だと思っております。「世界へのプレゼント」になって頂きますよう、皆様お一人お一人の今後のご活躍をご祈念致しまして、卓話とさせて頂きます。

ご清聴頂きまして有難うございました。

◎記念撮影

平成27年9月のプログラム (月間テーマ 基本的教育と識字率向上月間)

月	日	例会数	行 事 予 定	当 番 [担当委員会]
9.	2	2,663	【四つのテスト】 卓話「50周年記念演奏スライド」	柏木君神田(敬君)[職業奉仕]
9.	9	2,664	【結婚・誕生日祝】 卓話「(タイトル未定)」 ASエルフェン埼玉様	川 口 君 増 島 君 [プログラム]
9.	16	2,665	卓話「(タイトル未定)」 飯能RC 服部融亮会員	前 島 君 森 君 [社会奉仕]
9.5	23	2,666	例会取消 (法定休日)	
9.3	30	2,667	グループごとに分かれての ディスカッション 飯能RC 雨間保弘会員	本橋君 松下君 [会員増強]

2015-16年度

ガバナー公式訪問

クラブ協議会

と き 平成 27 年 8 月 5 日(水) ところ ホテルヘリテイジ飯能sta.

飯能ロータリークラブ 日高ロータリークラブ

●飯能RC

間邉元幸会長

飯能RCは本年度、創立52年目を迎えました。半 世紀を過ぎたクラブとしてロータリーの原点に還り、 飯能クラブの良き伝統は守りながら時代の変革にも 対応出来るように、会員の皆様のご協力の下、1年間 努めて参ります。私は、RI会長、高柳ガバナーのテー マを参考に次の6項目を目標として運営致します。 1) 会員増強。組織の力を保つため、純増2名、女 性を含め60人体制を目指す。2) バランスのとれた 親睦活動と奉仕活動。 「仲良しクラブ」 だけではなく きちんとした奉仕活動をする。3) 全員参加の充実 した例会。食事だけでなく目的を持って出席。4) R 財団、米山記念奨学への支援・協力。本年度も継続。 5) 公共的イメージの高揚。クラブ全体のイメージと 共に、各個人のイメージを大切に、日頃の行動に注意 する。6) 中・長期計画を立てる。ロータリーは単年度 が基本だが、今後多年度事業を想定し、副会長、会長 エレクトと共に検討。「相手を思いやり行動しよう」 をスローガンとして1年間進めて参ります。ご支援ご 協力をよろしくお願い致します。

●クラブ奉仕委員会

增島宏徳委員長

高柳ガバナーの「地区活動方針」会員増強および 退会防止、公共イメージ・ロータリーイメージの向上、 オンラインツール活用、この3つは関連委員会とも 相談して出来る事と思う。問題なのは最初に挙げて いる「戦略計画の理解・推進」。今RIが出している「スト ラテジック・プラン」は1か所、「コア・エッセンス(本質)」 部分が変更されている。「地域の人々の生活を改善し たいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる 献身的な人々の世界的ネットワーク」が「私達は責任 あるリーダーとして、世界の切実な課題を解決する ために行動します」となった。これをこのクラブでや ろうとすると出来ないですよね。どうして「コミュニティ ーズ (地域の人々)」を「世界」にしてしまったのか。1906 年、2項目だった定款に第3項目を加えるという事で ドナルド・カーターは入会するのですが、それは「シ カゴの利益を推進し、市民の中に市に対する誇りと 忠誠の精神を普及する事」つまり「コミュニティ」だっ た。シカゴのためにやるのだというのが最初のロータ リーの方針だったわけで「コミュニティ」で良かったの ではないか。もう1つ「インスパイアド・インディビジュ アルズ」、ロータリーは一人一人が自立していく「アイ・ サーヴ」であるのに、「リーダー」に変わっている。森三 郎PGが「リーダーシップとフェローシップ」(1991) で 同志的な親睦団体という事を私が申しますのは理 由がございます。RIから本年、私共に通達が参りま

した。ロータリーの会長さんの指導力をもっと増進 させなければならないという必要を強く感じている。 そこで各地区の指導力増進委員会を設けて特別に そのための人員を配置し地区会等で配慮して欲しい という事であります。これに対して私はいささか不安 を持っています。と申しますのは、指導力を強調する 時、その組織は曲がり角に差しかかっている事が多 いからです」と言われている。RIは同じような事を今 年もやろうとしている。旧本のサルはボスの社会だが ヒヒの中にはボスの居ない社会でフェローシップを 作って平和的に暮らしている仲間を見る」という話 の後、最後に森氏は「ロータリーでリーダーシップを 唱えるならばそれと同じく力を入れてフェローシッ プを唱えるべきであろう…フェローシップを親睦活 動と訳して旅行や宴会を企画する事でお茶を濁して しまってはいけない…ロータリーはボスの居ない社 会…これがために各役職は全て1年毎に交代すると いうルールがある…競争という事も出来るだけ避け て普段競争社会に居る我々がつかの間の温かい心 で交流しようというのがそもそもの目的であるなら ばリーダーシップをあまり強調すべきではないと思 う…」と結んでいる。メンバーも減りRIは躍起にな っているが、原点に戻ってフェローシップを大切に した、各地区が中心となって、一人ずつが成長していく ようなロータリーに戻すべきだと思う。だから、改め るべきはRIなり規定審議会だと思っています。

●職業奉仕委員会

神田康夫委員長

ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違う点は 職業奉仕の概念を持っているかどうか。この概念を 有するロータリアンにとって職業奉仕は最も大切な 奉仕活動の1つ。故に職業奉仕(ボケイショナル・サ ービス) はロータリーの真髄と教えられてきた。ロー タリー手帳「ロータリーの目的」の第2に、職業上の高 い倫理基準を保ち (ハイ・エシカル・スタンダーズ・ イン・ビジネス)とある。各自の職業を高潔なものに する事。また「ロータリーの行動規範」には、会員はロ ータリーの理念に従って自分自身を律し事業を行う とある。今日ほど「倫理」が叫ばれている事はない。本 年度は倫理基準を保つ事を皆で学習したい。職業 奉仕理念の中核「超我の奉仕」「最も多く奉仕する者 最も多く報いられる」の深い意味も研鑚出来ればと 思う。四つのテストも唱和に終わらせる事なく、各自 テストとして活用しなければ何もならないと思う。 「ザ・4ウェイ・テスト」英語版の推進も図りたい。

●社会奉仕委員会

服部融亮委員長

ロータリー四大奉仕はクラブ奉仕・職業奉仕・社

会奉仕・国際奉仕。第3部門・社会奉仕は、クラブの所在地等に住んでいる人々の生活の質を高め、時には他の団体と共に協力しながら会員が行うさまざまな取り組みから成る。それを念頭に置き取り組みたい。さきたま古墳群ゆざせ世界遺産」、秩父夜祭「ユネスコ無形文化財」登録運動も新しい形でなさるとの事、逐次ご案内させて頂きます。献眼登録の啓蒙運動、ブライダル事業の登録者推進にも協力したい。9/16担当例会の予定。その他、市社協に協力、過去の事業の検討等、活動させて頂きたいと思います。

●国際奉仕委員会 中里昌平委員長

ネット上には驚く程の情報量が公開されている。 「ロータリーにおける数多くの奉仕活動の中で最も美 しい花だと言われている国際奉仕は、その評価とは 裏腹に、一部の限られたロータリアンの活動分野で あって一般のロータリアンにとっては縁遠い存在で あると考えている人も多いようです。今回のセミナー はその誤解を解いて身近な活動であることを…」と の書き出して論文『国際奉仕総論』も掲載されている。 著者は「ロータリー源流の会」会長の田中毅氏(尼崎 西/PG)、眼科医で幅広く活動されている方。国内の PG同士のWCSに対する批判や論争も載る。是非 ご一読されたら如何かと思う。「源流の会」は本庄南の 浅田氏が会計、石川・野中・加藤PGも顧問に名を連 ね、2770地区の岩渕PG、IMにお招きした鶴岡の 藤川氏の名前も見えます。恵まれない国や人々に金 銭的な支援をする事ももちろん必要だが、「世界理解 月間」等も設けられている。世界を知り理解するには 出て行ってみなければ分からない。前年度は不穏な 国際情勢の関係で海外へは出られなかったが、今 年は協議して是非とも実現したい。

●青少年奉仕委員会 小川晃男委員

(森健二委員長代理) 少子高齢化、人口減少は我が国の重要な課題だが、若者の貧困も大きな問題。 RCは五大奉仕の一翼を担うものとして青少年奉仕を位置付け、未来を担う青少年に対する支援を積極的に行う方針を打ち出している。以上を踏まえ、青少年が自己を大切な存在と認識し、社会の一員として自立し行動していけるよう、関連諸団体と協力連携しながら、その健全な育成を支援していきたい。来週、具体的な内容を話し合う。9月、教育に精通された方を卓話講師としてお願いしている。RI会長のお言葉を拝借すれば"Be a gift to the youth in hanno city."という事で活動していきたい。

◎高柳ガバナー講評

間違会長「相手を思いやり行動しよう」というテーマで取り組むとの事、たいへんいいテーマ。「思いやり」は、ロータリアンである前に、人間として、仲間として、友人として大事な事。もう1つ、私はガバナーという立場を頂いたが偉いというわけでもなく皆さんと同格。ただ、その立場でないと出来ない事、あるいは私が協力する事で皆さんの活動に何かプラスアルファが出来るのであれば、是非協力させて頂きたい。

増島委員長、たいへん勉強熱心で、私の方針「RI戦略計画に沿って」に触れてのご指摘。卓話では今年度国際協議会の内容等あまり触れなかったが、私自身疑問に思う事もある。RIテーマを頂いた時、「世界へプレゼントしよう」ではないだろうなと思った。ロータリアンが減少しているのが先進国で、増えているのが途上国。先進国で集められた財団資金が途上国の人道的支援等に回る。ロータリアンであるから最初は理解もあったのだと思うが、これがずっと続い

ていく中で何か先進国のロータリアンの中に疑問を 持つ方も出てきたのではないか。ただ、一昨年度、日本 では前年度に比べて増加。日本の状況が変わったの か原因が分からないが、「先進国の中で唯一会員が増 えた所」と国際協議会の中で日本とを紹介している。 私はあえて「家族」「地域」へのプレゼントもあるとお 話させて頂いた。それが回答になっているか分から ないが、もっと「地域」に対して奉仕をする事で我々が 充実した人生を送り、その中で評価されるのは嬉し い事でもあり大事な事。「世界へのプレゼント」で、全 く知らない国に何らかの人道的支援をやってどうな んだというところもあろうかなと思う。今、地区として 取り組もうとしている1つの事業に、西アフリカ・ブル キナファソという国への人道的支援がある。これを グローバル補助金を使ってやろうという事で申請中 で、それが下りれば年末頃から開始する事になる。 実際には地区の皆さんにその事業に対してご理解 を頂くのはなかなか難しいだろうと思う。ただ、ロー タリーという組織が国際的な組織であって、我々に 出来るわずかなポケットマネーの、その支援で、そこ の人達が自立して生活出来たり、平和な生活に少し でも近づいたり、そういった部分に協力出来ればと いう、グローバル補助金を使った事業。それでも皆さ んにご理解を頂くとのは難しいかと思う。ただ、今回 「恩送り」という言葉を紹介したように、我々がとりあ えず安全で安心して、食べ物に困るわけでもなく、そ ういった中で私達が提供する寄付が、どこかの国の 何十倍に活きるのか分からないけれども多くの人の 支援に繋がるという事、ある意味では自分達がそれ に貢献出来ているという事は、振り返ってみれば自 分が幸せに生きる一つのあり方でもあるのではない か。私としてはそんな考え方をしたいなと思います。 「地域の人々」から「世界」に変わっているというご意 見。規定審議会に提案しなければロータリーに大き な変化を生む事は出来ません。昨年12月で2016年 開催の規定審議会の議案は締め切られましたが、 皆様のお考えを規定審議会に議案として出す事は 可能です。地区にも出て頂きたい。今日ご意見を頂い たので何かの時には私も報告したいと思いますが、 1クラブの中でいくら話していてもそこで止まってしま う。それをどう多くの方に理解してもらい結果として

いかもしれませんがご理解を賜れればと思います。 「出席率100%」を目指す。私としては、まずは参加 しないと意味がない、縁をつくらないと、とお話しまし た。皆さんいろいろ仕事をお持ちだと思います。私も 立場上ここに来ていますが、今週は4日連続で診療 を休んでいるのです。来週は1日だけですが再来週 は5日連続。受けた以上は役目ですから。患者さん からはクレームが出ています。昔は人前で話す事も 出来なかった。会長になった時、足がガタガタして、 何を話したか分からないような状態でした。ただ、 いろいろ機会を頂く中で、皆さんにどれだけ理解出 来るお話が出来ているか分かりませんが、とりあえ ず話は出来るようになりました。「縁を結んで下さい」 というのは例会に出る事も大事だという事でご理解 頂ければと思います。 (中略) お一人お一人に十分な 講評が出来ず恐縮に思います。

ロータリーをより良いものにしていくか。そのしくみ

をご理解頂けたらと思います。回答として十分でな

6月末にオンラインツール活用セミナーを開催しました。「年度会長賞」「ロータリークラブ・セントラル」 への登録のご協力に感謝を申し上げます。